

水道・観光・生活

建設環境常任委員会 3月8日(金)



尾元 武 委員長



←委員長報告の動画はこちら

担当
産業建設環境部
上下水道部

質疑の一部を紹介します。

一般会計所管部分

浄化槽適正管理推進補助金

Q 維持管理補助額は、人槽に関わらず定額ですか？また、自治会も対象となりますか？



A 人槽に関わらず一律6,000円で、自治会も対象となります。
下水道課

地域ねこ活動団体支援

Q 補助率を7割にした理由は？



A 当初は一部地域が中心でしたが、徐々に町内に広がりを見せ、各団体の活動で効果がでており、その取り組みに対し、さらなる後押しができるように7割としました。
生活衛生課

観光プロモーション映像作成業務

Q ターゲットや活用方法は？

A イベントや各施設等で映像を流すなど、様々な場面を想定しています。
商工観光課

農業の承継者支援金

Q 専業農家以外の場合も対象となりますか？

A 兼業農家の場合でも、耕作している農地をすべて承継することで対象となります。
農林水産課

賛否一覧表	山中正樹	竹田茂伸	岡崎裕一	田中豊文	新田健介	吉村忍	尾元武
賛成：○ 反対：●							
一般会計(所管部分)	○	○	○	●	○	○	
特別会計							※1
水道事業	○	○	○	○	○	○	
下水道事業	○	○	○	○	○	○	

※1 委員長は議事進行のため、賛否表明はしません。

一般会計所管部分

ため池ハザードマップ

Q 作成の目的は？
また、貯水能力を無くすため、堤の切開工を行うため池の選定方法は？



A 災害時に迅速かつ安全に避難するため、浸水予測と避難場所を記載したため池ハザードマップを作成します。堤の切開は、防災重点ため池の中から所有者等と協議し同意が得られた箇所を選定しています。
施設整備課

水道事業特別会計

水道事業の広域化

Q 広域化に伴う職員派遣の状況は？



A 令和6年度は柳井市役所に準備室を設け1名を派遣、また令和7年度からは水道課職員9名の派遣を想定しています。
水道課

下水道事業特別会計

建設改良費

Q 管渠費の委託料の大幅な増額理由は？

A 小松地区でマンホールポンプを2基追加したためです。
下水道課

町政を問う！ 一般質問

質問事項の詳細は、予告動画の概況欄をご覧ください→



ただしげのぶ
竹田茂伸 議員

大島大橋の老朽化についての考えは？

町長

山口県に必要な要望等を行います。



さまざまな場面で、橋の架け替えも含めて、しっかり議論していただきたい。

問 大島大橋が昭和51年に建設され今年で48年になります。山口県が維持管理していますが、一般的に橋梁の耐用年数は50年といわれています。

また、最近では能登半島地震などの自然災害も頻発しており、さらに東南海地震のことを考えると災害時の生活を心配している方もおられます。

大島大橋の老朽化について、町長のお考えを伺います。

答 大島大橋は本町の大動脈であることを認識していますので、災害による長期不通の際は、国や県へ海路による支援を要請する予定です。

県では「橋梁長寿命化計画」を策定しており2031年までに大規模修繕を完了し、2032年からは予防保全型の維持管理を実施していく方針です。

本町においては、有識者意見交換会を予定しており、第2大島大橋についての意見交換も実施します。

えいもとただつぐ
栄本忠嗣 議員

クラウドファンディング型ふるさと納税の導入を！

町長

積極的に取り組んでいく必要があると考えています。



プロジェクト例：

・大島大橋架橋50周年イベント企画。

・地域ねこ活動推進事業の補助率・補助金を上げる。

・町内の学生と返礼品を考案。学校の活性化事業に活用。

問 全国的にも、ふるさと納税に対する理解や取り組みに対する注目度が年々上がってきていると感じます。

このタイミングでクラウドファンディング型ふるさと納税を導入し、プロジェクトを立ち上げ、目的を明確化することで、共感した方からの更なる寄附金額、件数の増加につながるかと考えますが見解を伺います。

答 本町が抱える課題解決や未来へのまちづくりへの取り組みをプロジェクト化していくことにより、新たな財源の確保とともに、本町の魅力を発信する機会として、今後積極的に取り組んでいく必要があると考えています。